



部屋を彩る手作りひな

女性センター 和紙で作る「お雛様」

1月21日㈫、和紙で立体の「お雛様」を作る講座が女性センターで開催されました。日本折紙協会公認講師の米村政子氏が講師を務め、野々市公民館折り紙サークルのメンバー5人が製作をサポートしました。17人の参加者らは、作り方の説明を順番に聞きながら見本と見比べ試行錯誤。「そこはそう折るのね」「ここは真っすぐ?」と、互いに確認し合って制作しました。徐々に形作られるかわいいひなを見た参加者は「完成したら玄関に飾ります」とうれしそうに話していました。

親子で楽しめる演劇

カレードステージ vol. 1『さんびきのこぶたと』

1月25日㈯、学びの杜のいち カレードで「劇団羅針盤」による親子演劇『さんびきのこぶたと』が上演されました。皆さん知っている「3匹の子ブタが協力して、子ブタを食べようとするオオカミを追い払う物語」に、劇団羅針盤のオリジナルの話が加わり意外な結末に。観劇した親子からは、「子どもにもわかりやすい笑いがあって楽しめた」「オオカミが飛んでいくのがおもしろかった」などの声が聞かれました。また、終演後は子ブタやオオカミと観客との写真撮影会も行われました。



カレードで演劇を上演したのは、今回が初めてとのことです。



栗市長と笑顔で話す光太郎さん（中央）と父・健太郎さん（左）。

野々市市児童が文部科学大臣賞を受賞！

MOA美術館 全国児童作品展

MOA美術館児童作品展は、子どもたちが興味や関心を持ったことを絵画や書写で表現することを通じ、豊かな心を育てることを目的に開催されています。35回目となる全国児童作品展で、館野小学校1年の永島光太朗さんの作品『かがやくせかい』が文部科学大臣賞を受賞しました。2月3日㈪には、永島さんが栗貴章市長を表敬訪問しました。作品には「楽しい気持ちで好きなものをたくさん描きました。みんなが笑顔で輝く世界になってほしい」という思いが込められています。

育児の小さな悩みも話せる場

家庭教育サポーター子育てウェルカム広場

子どもへの関わり方に迷ったり、不安を抱えたりしたときに気軽に育児のことを話せる場として「子育てウェルカム広場」を家庭教育サポーターが毎週火曜日に開催しています。家庭教育サポーターは、子育て中の保護者を応援する活動を行うボランティア団体です。2月4日㈫には、親子で参加できるイベント情報が掲載されたチラシを配布しました。会場の学びの杜のいち カレードに訪れた家族は、家庭教育サポーターと子育てについての会話を楽しんでいました。



3月22日㈯には、なかよし子育て大集合！を開催（12ページ）。

Fまちの話題 OCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

『おばあちゃんの古時計』

劇団 nono 第15回定期公演

2月9日㈰、にぎわいの里のいち カミーノで劇団nonoの第15回定期公演が開催されました。今回上演されたのは『おばあちゃんの古時計』。演出と脚本は劇団nono所属の中川誠氏が務めました。物語は、動いていない時計とずっと一緒に暮らしているおばあちゃんの登場から始まります。孫娘が時計が動いていない理由をおばあちゃんに尋ねると、突然時計の精霊が現れ、3人でおばあちゃんの過去をたどります。悲しかったことやうれしかったことを振り返ることにより、おばあちゃんのかたくなだった心が動きます。心温まる物語に、会場は感動に包まれました。

観客からは「面白くて、子どもが集中して見ていた」「おばあちゃんが過去を振り返っている時の表情が良かった」などの声が聞かれました。また、おばあちゃん役のドロシー氏は、「過去と現在の切り替えや、気持ちを言葉に乗せるのが難しかった」と話しました。



①おばあちゃんの楽しかった過去を振り返っています。②時計の裏から手紙を見つけ、感動のラストへ。③④迫真的演技が光ります。⑤上演後に出演者が勢ぞろいでいざつしました。

目指せ、野々市マスター！

館野小学校放課後子ども教室 野々市クイズ

安全安心の居場所づくりを目的に市内6カ所で実施する「放課後子ども教室」では、子どもたちが地域のボランティアと一緒にさまざまな体験を行っています。



栗市長登場後は市長自らクイズを出題。子どもたちも真剣です。

1月16日㈭の館野小学校放課後子ども教室では、児童13人が野々市クイズに挑戦。「市花はどっち？」や「のっティの誕生日は？」などの問題で、遊びながら野々市のことを学びました。栗貴章市長と馳浩県知事の写真を並べ「市長はどっち？」という問題では、正解発表で栗市長本人が登場。大きな歓声が上がりいました。



酒井選手（写真左）は、なんと富陽小学校の卒業生！

プロの技術に触れて

金沢武士団の小学生向けバスケットボール教室

スポーツへのより深い興味を持つきっかけとするために、プロバスケットボールチームの金沢武士団によるバスケットボール教室が1月21日㈫と28日㈫に行われました。酒井達晶選手ら4人が“先生”として、富陽小学校6年生約30人にバスケットボールをする際の基本的な姿勢や正しいパス・シュートの仕方を教えました。最後には金沢武士団と小学生に分かれて試合が行われ、プロの技術に小学生からは「おおー！」「すごー！」と感嘆の声があがっていました。